

## 平成 29 年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	中等 2	学校名	県立古河中等教育学校					課程	全日制				学校長名	植木 邦夫															
教頭名	濱野 優子					岩崎 祐児				事務(室)長名	加藤 健司																		
教職員数	校長	1	教頭	2	事務 長	1	教諭	4	1	養護 教諭	2	常勤 講師	1	非常勤 講師・ALT	6	実習 助手 等	1	事務 職員	3	技術 職員等	5	計	6	3					
生徒数	学科	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数													
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女												
			6	0	6	0	6	0	6	0	5	9	5	9	6	0	5	9	5	8			2	9	8	2	9	7	1

## 2 目指す学校像

○6年間の継続的・計画的な教育活動を通じて、一人一人に高い志をもたせ、その実現に向けて知性と人間性を育む。  
 ○科学教育や国際教育を推進し、体験的・探究的な学習活動の展開により、国内外で活躍するための科学的思考力や表現力を培う。  
 ○異年齢交流を重視した学校行事や部活動、トップリーダーとの交流、ボランティア活動などを通じて、社会に貢献するリーダーとしての資質を磨く。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	○6年間の学習指導計画概要を基に、年間計画及びシラバスを作成し、生徒の自主的・主体的な学習態度の育成を目指し取り組んでいる。	○生徒の自主的・主体的な学習態度の育成 ○6年間を見通した体系的なシラバス作成と後期課程における学習システムの構築
生徒指導	○基本的な生活習慣の育成や望ましい人間関係の確立を目指し、個に寄り添った生徒指導を実践している。	○個に応じた生徒指導の望ましい在り方 ○教育相談体制の確立
進路指導	○6年間のキャリア教育計画概要を基に、生徒の発達段階に応じた進路指導を実践している。	○6年間を見通した体系的なキャリア教育の実践
特別活動	○学級活動(LHR)の時間を中心とし、生徒一人一人が居場所のある学校生活を送るための指導を実践している。 ○学校行事の具体化並びに生徒会活動における委員会と部活動の設置及び望ましい運営に向けて取り組んでいる。	○6年間を見通した自主的・自治的な活動を推進するための特別活動の在り方と実践

## 4 中期的目標

○Σソフィア・プロジェクトと各種教育活動とを連携させ、体験的・探究的な学習活動を展開し、科学的思考力や判断力、表現力を培うことができる。  
 ○6年間の体系的なシラバス作成と学習システムを構築し、生徒一人一人が将来の夢や目標に向かって、自主的・主体的に学習に取り組むことができる。  
 ○学校行事や部活動、ボランティア活動などを通じて異年齢交流を行い、社会に貢献するリーダーとしての資質を育成することができる。

別紙様式 1 (中等)

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
Σソフィア・プロジェクトの推進	○学校行事や年次行事，各授業と連携し，Σアクション(リーダー資質の育成)，Σリサーチ(探究学習)，Σサイエンス(科学教育)，Σコミュニケーション(国際教育)，Σアカデミア(学力育成)を計画的に実施する。
開かれた学校づくりと広報活動の充実	○本校の特色ある教育活動及び教育活動全般について，ホームページや各種たより等で保護者等に順次発信する。 ○学校説明会や学校公開等を計画的に実施する。
高い学力の育成と探究的な学習の確立	○アクティブ・ラーニング型の授業の積極的な実践や少人数指導，ティーム・ティーチング等の授業形態の工夫により，生徒がより自主的・主体的に取り組む学習指導，及び思考力・判断力・表現力の育成を重視した学習指導を展開する。
生徒指導と教育相談体制の充実	○基本的な生活習慣を定着させるとともに，多くの体験活動を通して豊かな心の育成を図る。 ○スクールカウンセラーや担任等との面談や相談を計画的に実施し，生徒全員が安心して学校生活を送れるよう，教育相談体制の充実を図る。 ○学校環境衛生及び学校安全管理の維持向上を図る。
キャリア教育の推進	○学習と探究活動の系統的指導を通して，将来を見据えたキャリアプランニング能力の育成を図る。 ○課題を発見する力や自己管理能力の伸長を促し，生徒一人一人の目標実現に向けたキャリア教育を行う。